

## 令和5年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

産業創造系、機械系、電気系が連携した創造的なものづくり教育により、地域社会のリーダーとなり得る人格を兼ね備えたものづくりのスペシャリストを育成する。

『地域の宝』となる！』というスローガンを掲げ、「社会人基礎力（前に踏み出す力）（考え抜く力）（チームで働く力）」の育成と、優れた工業技術や創造性を有する人材を育成する。

- 1 人権尊重の理念を正しく理解し、豊かな人間性と基本的な生活習慣に加え、礼儀や挨拶などの社会性を身に付けた生徒を育成する学校
- 2 自ら課題を見つけ、他の人々と協働し、課題解決に主体的に取り組むことのできる、創造性豊かな製品開発のスペシャリストを育成する学校
- 3 生徒一人ひとりを大切にしたい教育を実践し、生徒、保護者が「入学してよかった」「学んでよかった」「卒業してよかった」と実感できる学校
- 4 地域の「ものづくり」の発信源となり、地域の住民、産業界から「地域の宝」として信頼される学校

## 2 中期的目標

## 1 社会的自立を見据えた基本的な生活習慣と規範意識の醸成による自己実現

(1) キャリア教育の観点から基本的な生活習慣の確立、社会性、規範意識をはぐくむことにより自己実現を図る。

ア、遅刻件数を900件以下とし、令和7年度には遅刻件数を800件以下とする。

(遅刻回数：R2 985件、R3 1205件、R4 1962件)

(2) 新たな教育手法（PBL等）を探求し、スマート専門高校として習得した最先端技術・技能を基礎とした創造力を育成する。

ア、各種コンテスト、大会に積極的に参加し成果を上げる。また、資格取得によりチャレンジ精神と自尊心を育成する

(3) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。

ア、応募前職場見学、大学、企業等見学への参加者を延べで450名以上とする。また、令和7年度までには500名以上とする。

(応募前職場見学、大学、企業等見学参加者延べ：R2 392名、R3 148名、R4 172名)

イ、就職一次合格率85%を維持とする（R2 84.7%、R3 87.2%、R4 88.7%）

## 2 確かな学力の定着と学びの深化

(1) 教員の授業力を向上し、主体的・対話的な授業を展開することで、確かな学力の定着と学びの深化を図る。

ア、年2回の授業公開週間を設定する。授業実践の共有を推奨し、相互に好事例の共有及び改善点の把握に努める。

イ、授業理解度78%以上を維持する。

(授業理解度：[普通科]・[専門科]R2 80.1%・67.9%、R3 84.3%・81.1%、R4 81.6%・82.2%)

ウ、授業アンケート結果による総合（設問1～9）スコアを3.20以上を維持する。

(授業アンケートスコア[12月]：R1 3.21、R2 3.19、R3 3.21、R4 3.25)

(2) ICT（1人1台端末等）を活用した先進的な授業を実践する。

ア、授業でICTを活用した実践を行う教員の割合100%を維持する。

イ、AIやブロックチェーン技術、仮想空間を活用した教育実践を行う。

## 3 生徒一人ひとりを大切にしたい教育の推進

(1) 個々の生徒の状況に応じたきめ細やかな支援と配慮を行い、いじめの防止、対人関係の課題解決を図り、安全で安心できる学びの場を提供する。

ア、退学率を1.5%未満、入学満足度を75%以上、登校満足度を73%以上、令和7年度までには、入学満足度を77%以上、登校満足度を75%以上とする。

(退学率：R2 0.6%、R3 1.1%、R4 2.0%) (入学満足度：R2 75.5%、R3 80.6%、R4 76.5%) (登校満足度：R2 73.4%、R3 79.6%、R4 77.8%)

イ、生徒の状況に応じて「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、一人ひとりの個性に応じた支援を行う。

(2) チャレンジ週間の取組の充実を図り、生徒の挑戦心と自尊感情を育成する。

ア、挑戦度を75%以上、令和7年度までには、挑戦度を80%以上とする。

(3) ICT化推進により業務や会議の効率化を行い、生徒とかかわる時間を増やす。

## 4 地域と連携した開かれた学校づくり

(1) 学校説明会等の広報活動により、学校の魅力の発信を効果的に実施する。

ア、オープンスクール等を年2回開催し、参加者を350名以上とする。

(オープンスクール参加者：R2 257名、R3 265名、R4 357名)

イ、Web等の発信を150回以上とし、令和7年度には、200回以上を維持する。

(発信回数：R1 198回、R2 155回、R3 200回、R4 280回)

(2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や行政組織等と連携してイベント等に参加し、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。

ア、新たな企業等連携を1社以上

(企業等連携：R2 8社、R3 15社、R4 24社)

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【佐野工科満足度について】</b> ○生徒、保護者評価では、教育活動全般で高い満足度を得ることができている。一方で、生徒の多様化が進む中で一層の改善が求められる。</p> <p>・《生徒評価》 「この学校に入ってよかった」76.8% (R4 76.5% R3 80.6%) 「学校へ行くのが楽しい」77.6% (R4 77.8% R3 79.6%)</p> <p>・《保護者評価》 「佐野工科に行かせて良かった」94.4% (R4 97.8% R3 96.6%) 「子どもは学校へ行くのを楽しみ」83.1% (R4 85.8% R3 82.6%)</p> <p>・《教員評価》 「生徒や保護者の願いにこたえている」74.3% (R4 80.0% R3 44.4%)</p> <p><b>【学習指導について】</b> ○普通科目で上昇がみられた。実習で評価が上がっておりものづくりの取り組みが成果を上げている。一方で、個々の生徒への学習支援の充実が課題。教員評価から、さらなる改善の意欲が感じられ期待できる。</p> <p>・《生徒評価》 「普通科目の授業はわかりやすい」85.0% (R4 81.6% R3 84.3%) 「専門科目の授業(座学)はわかりやすい」79.8% (R4 82.2% R3 81.1%) 「実験・実習などの授業はよく学習できている」92.4% (R4 91.2% R3 90.4%)</p> <p>・《保護者評価》 「子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」66.3% (R4 73.1% R3 73.6%)</p> <p>・《教員評価》 「到達度の低い生徒に対する学習指導」60.0% (R4 67.5% R3 46.7%) 「学習意欲の高い生徒に対する学習指導」60.0% (R4 62.5% R3 33.3%) 「本校の工業教育は現状のままでよい」42.9% (R4 50.0% R3 38.7%)</p> <p><b>【生徒指導等について】</b> ○生徒の評価は上昇しており、保護者の評価も高い。一方で教員の組織的な対応について課題意識がある。引き続き、多様な生徒への生徒指導・支援の在り方について考える必要がある。</p> <p>・《生徒評価》 「いじめについて真剣に対応してくれる」87.7% (R4 84.2% R3 84.8%) 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」85.2% (R4 83.1% R3 85.9%) 「先生の指導は納得できる」71.8% (R4 65.6% R3 71.3%)</p> <p>・《保護者評価》 「いじめや差別を許さず、厳しく対応」93.8% (R4 95.5% R3 89.8%) 「学校の生徒指導の方針に納得できる」86.3% (R4 88.1% R3 86.8%) 「生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育成」93.1% (R4 96.3% R3 87.7%)</p> <p>・《教員評価》 「いじめの際の体制が整っている」77.1% (R4 60.0% R3 46.2%) 「組織的に対応できる体制」51.4% (R4 57.5% R3 30.3%) 「家庭との密接な連携」68.6% (R4 80.0% R3 59.3%) 「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」60.0% (R4 60.0% R3 36.4%)</p> <p><b>【進路指導等について】</b> ○キャリア教育の推進により、進路希望に応じた授業選択の項目が上昇。一方で、具体的な進路について考える機会に課題がある。</p> <p>・《生徒評価》 「進路のことを考えてこの学校に入学」78.8% (R4 80.5% R3 80.6%) 「卒業後、進学したい学校や就きたい職業がある」66.1% (R4 67.6% R3 62.2%) 「将来の進路や生き方について考える機会がある」89.3% (R4 84.2% R3 76.3%) 「進路希望に応じた授業が選択できる」93.8% (R4 86.6% R3 89.6%)</p> <p>・《保護者評価》 「進路や職業について適切な指導」90.0% (R4 93.3% R3 88.5%)</p> <p>・《教員評価》 「興味・関心・適正に応じて進路選択、きめ細かい指導」74.3% (R4 75.0% R3 60.9%)</p> <p><b>【考察と分析・方針】</b> &lt;結果(一部抜粋)&gt;</p> <p><b>【生徒】</b> 評価が伸びている項目 「平日もアルバイトをしている」94.6% 「進路希望に応じた授業が選択できる」93.8% 「実験・実習などの授業はよく学習できている」92.4% 「文化祭、体育大会、修学旅行は楽しく行えるよう工夫されている」89.9%</p>	<p>第1回 令和5年6月28日(火) 15:40~17:00</p> <p>・令和5年度学校経営計画及び学校評価 ・令和5年度 各分掌・系よりの目標設定 ・令和5年度 「地域産業連携重点型工科高校」としての取組み(佐野工科地域コンソーシアム)</p> <p>○中学校で休みが多い生徒、不登校などの生徒が貴校に来てから登校が続いているがどのような対策があるのか? (ANS) 相談室を設けている。そこで支援担当の教員が対応をしてスクールワーカーや外部カウンセリングなどを通して対応している。気軽に相談できる体制を整えている。</p> <p>○コミュニケーション能力を身に付ける取組みは? (ANS) 生徒本人の考え方をじっくり聞き、カウンセリングマインドを持って接している。また、実習などでは、少人数体制なので生徒と教員がじっくりコミュニケーションを取れる。また、工科高校では、授業を教えるだけではなく、考え方などを指導しているので教員との信頼関係が出来やすい。</p> <p>○地域産業連携産業連携校で、地域産業を支えている。モノづくりコンテストや資格取得などで頑張ってる高校だと印象を持っている。</p> <p>○2月のアンケートで「学校行きたい」のパーセントが高かったが何か理由はありますか? (ANS) 生徒会を中心にイベントを考えた(芸能祭・文化祭・学年イベント)結果だと思ふ。来年は、もっと幅広いことを考えていきたい。</p> <p>○生徒が遅刻もせず毎日登校していることに満足している。</p> <p>○遅刻の数が年々増えているがなぜか? (ANS) R2年度は、コロナのこともあり減少していた。近年は、生徒の状況など様々な事情などもあり増加傾向。遅刻指導などでは、なぜ遅刻をするのかを教員といっしょに考えることをしている。</p> <p>○令和5年度学校経営計画及び学校評価、各分掌・系よりの目標設定、スクールポリシー案は承認。</p> <p>第2回 令和5年11月16日(木) 15:40~16:45</p> <p>・令和5年度学校経営計画及び学校評価(進捗状況) ・令和5年度 各分掌・系よりの目標設定(進捗状況) ・地域連携等一覧表(コンソーシアム)</p> <p>○今後、工科高校再編の中で教育課程の変更をされるということだがいつごろされるか? (ANS) 次年度以降、検討していく。今年度、PTを充足させて接続分野(普通教科)を強化していく教育課程を作成する。 (意見) 工科系の高校なので、工業教育の良さやものづくり教育を充実させて上で接続分野を作成してほしい。また、企業に入社してから教育するのではなく、高校生から教育していくことによって企業の即戦力となる人材を育ててほしい。</p> <p>○遅刻者数などが増加傾向にあるが主なる原因は何か? (ANS) 特に原因は見当たらない。現在は、担任を中心に遅刻指導を強化している。また、学年主任を中心に対策を検討している。 (意見) 全教職員が協力して遅刻指導にあたってほしい</p> <p>○各学年の保健講演や相談室の活用方法は? (ANS) 講演内容は、各学年主任を中心として内容を検討している。年度によって内容を変えている。相談室は、気軽に来れるように環境整備を整えている。 (意見) 社内で開催している講演などと同じテーマがあり、いい講演内容だと思ふ。コミュニケーション能力を高める校内研修をしていくと、社会に出た時に非常に役に立つと思う。生徒相談室は非常にニーズがある。生徒が気軽に来れるように相談室を充実させてほしいと思う。中学では、オンライン相談を実施している。また、オンライン上でシステム画面のボタンを押すと担任とつながるシステムも構築している。担任の先生の負担になるが、一定の成果は出ている。</p> <p>第3回 令和6年2月14日(木) 15:40~16:45</p> <p>・令和5年度学校経営計画及び学校評価、令和6年度学校経営計画 ・令和5年度 各分掌・系よりの目標設定(達成状況) ・地域連携等一覧表(コンソーシアム)</p> <p>○遅刻者数などが増加傾向になるが主なる原因は何か? (ANS) 特定の生徒が件数を増やしている。各学年で支援を行っている生徒も増加しているのも原因の一つではないかと推測される。引き続き遅刻が多い生徒には、学年を中心に指導していく。 (意見) 特定の生徒も計上しているのでは、本当に増加しているか分からないので、ある程度の指標を工夫してみてはどうか?また、グラフなど視覚的に見やすい表などがあるとありがたい。</p> <p>○不登校対応の取組みは? (ANS) 不登校生徒の多様性から考えて、本校の強みであるものづくりを中心とした支援を考えている。生徒の状況に柔軟に対応していく方向。 (意見) 中学校としては、進路指導をする上で不登校対応している高校があるところ</p>

府立佐野工科高等学校

<p>「普通科目の授業はわかりやすい」 85.0%                  「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる」 72.2%</p> <p>要望・課題等                  「もっと”ものづくり”（作品製作の実習など）をしたい」 83.5%                  「卒業後、進学したい学校や就きたい職業がある」 66.1%                  「資格・検定の取得に向けて努力している」 66.9%                  「家庭学習をしている」 40.9%</p> <p>【保護者】                  とりわけ評価が高い項目                  「佐野工科には、他の学校にない特色がある」 98.8%                  「子どもを佐野工科に行かせてよかったと思う」 94.4%                  「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している」 93.8%                  「学校は子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている」 93.1%</p> <p>課題                  「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている」 66.3%                  「子どもは、家庭でよく勉強している」 40.0%</p> <p>【教員】                  課題                  「到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる」 60.0%                  「学習意欲の高い生徒に対する学習指導を個に応じた視点で工夫している」 60.0%                  「生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている」 51.4%                  「人権教育の課題や指導方法について教職員が話し合っている」 48.6%</p> <p>&lt;分析&gt;                  これまでの取組みが評価され、総じて生徒、保護者の評価は高い状況にある。気になる項目を取り出して分析を行った。</p> <p>今後の方向性について                  R6でとりわけ力を入れる2項目                  ①個々の生徒の状況に応じた指導・支援（不登校対応等）                  ②体験的な学習と職場・工場見学の機会の増加</p> <p>一層充実を図る項目                  ・ものづくりの機会増加                  ・実験・実習の一層の充実                  ・家庭学習の推進                  ・オンライン学習ツールの活用                  ・生活指導から生徒支援体制へ                  ・教育相談系の充実（多様化する問題行動への対応）                  ・家庭での対話の促進                  （資格取得や職場見学等、対話が生まれる内容を増加）</p>	<p>とはありがたいことだと思う。                  保護者の立場としては、不登校支援はありがたい。不登校支援の充実をしてほしい。                  ○本校の就職企業で外資系の企業に就職した生徒はいるか？                  （ANS）外資系の企業に就職した生徒はいない。                  （意見）今後、この地域でも外資系の企業が増える可能性がある。就職に関しては、90%程度大阪府内に就職しているので、これからも地元企業との連携を密にしていきたい。                  ○デジタル採点の取り組みはどのようになっているか？                  （ANS）教務部で講習会を開き周知している。現在、各教員が試用している状況。                  ○退学率が1.57%というのは、低い数字ではないか？自己評価で(△)と診断されているが(○)でも良いのではないかとと思う。</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
社会的自立を見据えた基本的な生活習慣と規範意識の醸成による自己実現	(1) キャリア教育の観点から基本的な生活習慣の確立、社会性、規範意識をはぐくむことにより自己実現を図る。	1) ・日常的に遅刻、頭髪、服装等についての指導を行う。また、定期的に全校的な指導を実施し、規範意識の向上を図る。 ・懇談週間を設定し、家庭と生徒情報を密に交換し、課題の早期発見に努める。	1) ・遅刻数 900 件以下 [1962 件] ・懲戒件数 30 件以下 [8 件] ・生徒（社会のルールや命の大切さを学ぶ）80%以上 [83.1%] ・保護者（連絡・意思疎通）80%以上 [85.8%]	1) ・遅刻数 2873 件 (△) ・懲戒件数 27 件 (○) ・生徒社会やルール 85.2% (◎) ・保護者（連絡・意思疎通）83.8% (◎)
	(2) 新たな教育手法（PBL 等）を探求し、スマート専門高校として習得した最先端技術・技能を基礎とした創造力を育成する。	2) ・各種コンテスト、大会に積極的に参加し成果を上げる。また、資格取得によりチャレンジ精神と自尊心を育成する	2) ・コンテスト応募、近畿大会・全国大会での入賞 [ロボット相撲他] ・資格取得数 600 以上 [210]	2) ・近畿大会・全国大会入賞 (◎) ・資格取得数 312 (△)
	(3) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。	3) ・企業見学など、仕事に触れる機会を多く設定し、正しい勤労観・職業観の育成を図る。 ・進路講話や職業に関する探究活動を推奨し、主体的にキャリアの育成に取り組む態度を育成する。	3) ・応募前職場見学、大学、企業等見学への参加者延べ 450 名以上 ・就職一次合格率 85%以上 [88.7%]	3) ・応募前職場見学参加者 150 名 (△) ・就職一次合格率 91.7% (◎)

## 府立佐野工科高等学校

2 確かな学力の定着と学びの深化	<p>(1) 教員の授業力を向上し、主体的・対話的な授業を展開することで、確かな学力の定着と学びの深化を図る。</p> <p>(2) ICT(1人1台端末等)を活用した先進的な授業を実践する。</p>	<p>1)・授業アンケート、外部テストを活用し、各教科や、個人の課題を明確にし、改善を行う。</p> <p>・社会人として必要な基礎的な知識の定着を図る。</p> <p>・授業公開週間や研究授業を実施し、好事例の共有を図る。</p> <p>2)・ICT機器の活用を推進し、授業の改善を図る。</p> <p>・AIやブロックチェーン技術、仮想空間を活用した教育実践を行う。</p>	<p>1)・授業理解度 75%以上 [普通科 81.6%] [専門(座学) 82.2%] [実験・実習 91.2%]</p> <p>・授業アンケートスコア 3.19以上 [7月 3.22]・[12月 3.25]</p> <p>・授業公開週間 2回以上実施 [2回]</p> <p>2)・授業でのICTの活用 100%を維持[100%]</p>	<p>1)・授業理解度 [普通科]85.0% (◎) [専門(座学)]79.8% (○) [実験実習]92.4% (◎)</p> <p>・授業アンケートスコア (◎) [7月 3.33] [12月 3.32]</p> <p>・授業公開 2回 (○)</p> <p>2)授業等でのICTの活用 100% (◎)</p>
3 生徒一人ひとりを大切にしたい教育の推進	<p>(1) 個々の生徒の状況に応じたきめ細やかな支援と配慮を行い、いじめの防止、対人関係の課題解決を図り、安全で安心できる学びの場を提供する。</p> <p>(2) チャレンジ週間の取組の充実を図り、生徒の挑戦心と自尊感情を育成する。</p> <p>(3) ICT化推進により業務や会議の効率化を行い、生徒とかかわる時間を増やす。</p>	<p>1)・「いじめは絶対に許さない」の信念のもと、厳しさの中にも、カウンセリングマインドを持って生徒指導を行う。</p> <p>・年2回のアンケートを実施して、未然防止に努める。</p> <p>・学習支援や相談機能を充実させ、中途退学者の防止を図る。</p> <p>2)・年2回のチャレンジ週間に生徒が主体的に参加できる取組を行う</p> <p>3)・校内のICT環境を整備し、情報共有の効率化を図り、教員の事務負担を軽減する。</p> <p>・会議のオンライン化を推進し、教職員の負担を軽減し、働き方改革を行う。</p>	<p>1)・退学率 1.5%未満 [2.0%]</p> <p>・いじめ重大事象 0件</p> <p>・生徒入学満足度 75%以上 [76.5%]</p> <p>・生徒登校満足度 73%以上 [77.8%]</p> <p>・いじめ対応満足度 80%以上 [84.2%]</p> <p>・生徒指導納得度 65%以上 [65.6%]</p> <p>・生徒相談満足度 60%以上 [70.6%]</p> <p>・保護者入学満足度 95%以上 [97.8%]</p> <p>・保護者登校満足度 75%以上 [85.8%]</p> <p>2)・生徒登校満足度 75%以上</p> <p>3)・職員会議実施時間 1時間以内 80%以上 [90.0%]</p>	<p>1)・退学率 1.57% (△)</p> <p>・いじめ重大事象 0件 (○)</p> <p>・生徒入学満足度 76.8% (○)</p> <p>・生徒登校満足度 77.6% (○)</p> <p>・いじめ対応満足度 87.7% (◎)</p> <p>・生徒指導納得度 71.8% (○)</p> <p>・生徒相談満足度 72.2% (◎)</p> <p>・保護者入学満足度 94.4% (△)</p> <p>・保護者登校満足度 85.8% (○)</p> <p>2)・生徒登校満足度 77.6% (○)</p> <p>3)・職員会議実施時間 (○) [90.0%]</p> <p>・職員会議時間 1時間以内 90% (◎)</p>
4 地域と連携した開かれた学校づくり	<p>(1) 学校説明会等の広報活動により、学校の魅力の発信を効果的に実施する。</p> <p>(2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに積極的に参加をする。活動を通して、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。</p>	<p>1)・中学生及び保護者のニーズに沿った「オープンスクール」等を年2回実施する。</p> <p>・Web等の発信を150回以上とし、令和7年度には、200回以上とする。</p> <p>2)・地域企業、事業所等と連携し、ものづくりにおける技術力の向上を図る。</p> <p>・行政や民間団体等と連携し、様々なイベントに参加して、ものづくりへの関心を高め、生徒の発信力を高める。</p> <p>・地域と連携し、ボランティア活動や清掃活動を行う。</p>	<p>1)・オープンスクール参加者 350名 [357名]</p> <p>・Web等の発信 150回以上を維持 [280回]</p> <p>2)・企業等連携 15社以上 [24社]</p> <p>・奉仕的活動取り組み件数 3件以上 [2件]</p>	<p>1)・オープンスクール参加者 385名、その他説明会開催 3回 (○)</p> <p>・Web等の更新 300回 (◎)</p> <p>2)・企業等連携 20社 (○)</p> <p>・奉仕的活動 5件 (◎)</p>